

仙台市立病院経営計画 (2018 年度～2020 年度)

【2021 年度延長版】

2021 年 3 月

 仙台市立病院

仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）

これまでの取組み評価と2021年度における経営計画の延長について

目次

1. 仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）【2021年度延長版】 について	
（1）経営計画延長の理由	1
（2）経営計画延長への対応方針	1
（3）次期「仙台市立病院経営計画」	1
2. 各戦略と具体の取組みについて<2021年度の各戦略に対する目標値 及びこれまでの取組み状況>	2
3. 収支計画について	
（1）収支計画	6
（2）経営上の目標指標	8
4. 経営形態の見直しについて	9

1. 仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）【2021年度延長版】について

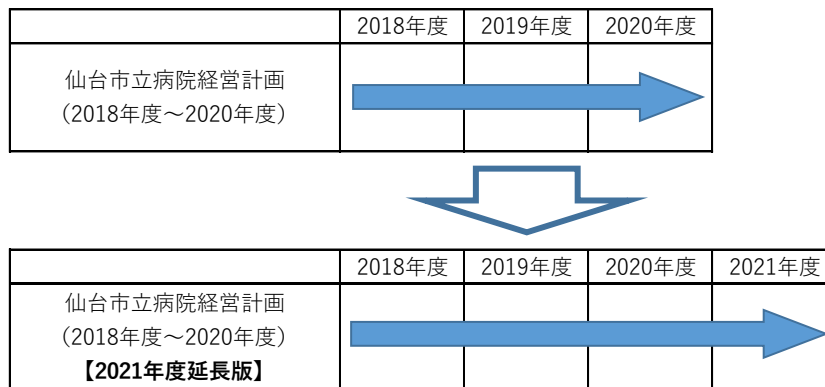
（1）経営計画延長の理由

「仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）」（以下、「現計画」という。）は2018年7月に策定し、「仙台市公立病院改革プラン2017」（以下、「プラン2017」という。）のアクションプランとして位置づけられ、当院が安定的な経営を継続し、高度急性期病院として本市地域医療の中核を担っていくため、病院運営の各戦略に対する数値目標と達成に向けた取組みを示したものである。

2020年度で現計画の期間が終了するにあたり、同じく計画期間が終了するプラン2017の改定に合わせ、現計画の改定を予定していたが、総務省の「新公立病院改革ガイドライン」改定の延期に伴い、プラン2017の改定も見送られることとなったため、プランに基づいた経営計画の改定ができなくなった。しかし、経営の効率化など安定的な経営基盤の構築に向けた取り組みは、経営環境の変化に応じ不断に進めていくべきものであり、その指針となる経営計画は継続して策定する必要がある。

（2）経営計画延長への対応方針

いまだ、新型コロナウイルス感染症拡大収束の兆しが見えない中ではあるが、現計画の戦略及び経営指標を基本としながら、これまでの実績の分析、評価を行い、目標値の暫定的な改定を行った「2021年度延長版」を策定し、病院運営の指針とする。



（3）次期「仙台市立病院経営計画」について

次期計画については、仙台市の新たな改革プランの策定状況等を踏まえ判断する。

2. 各戦略と具体的取組みについて<2021 年度の各戦略に対する目標値及びこれまでの取組み状況>

<戦略 I> 地域から必要とされ、働く職員も満足できる病院を目指す

① 救命救急センターの対応力強化等、政策的医療の充実

		2018	2019	2020	2021
救急患者受入数(人)	目標	15,330	15,330	15,695	14,600
	実績	15,210	14,719	14,568	-
救急車搬送患者受入数(人)	目標	6,570	6,570	6,935	7,665
	実績	6,896	7,255	7,271	-
救命コール受入れ数(件)	目標	600	600	612	630
	実績	602	657	557	-
分娩数(件)	目標	950	950	950	980
	実績	1,005	1,000	974	-
トリアージ実施率(%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	76.3	58.2	75.4	-
病院・開業医からの救急患者受入応需率(%)	目標	80.0	80.0	80.0	87.0
	実績	79.4	81.6	84.6	-
身体合併症精神科入院患者数(人)/日	目標	18	22	26	26
	実績	16	15	8.4	-
精神科措置入院患者数(人)	目標	4	4	4	6
	実績	8	8	6	-

※2020 年度実績値は見込み

【2018 年度から 2019 年度の取組状況と評価】

- ・迅速な救急搬送患者の受入れを可能とするため、救急外来でのトリアージの見直しや ICU・HCU を含めた病棟間の連携を図り患者受入れ体制を強化した。
- ・「救急車は断らない」「病院・開業医からの救急患者要請は断らない」を掲げ、救急車搬送患者受入数および病院・開業医からの救急患者受入応需率は増加している。
- ・分娩件数は目標を上回り、地域周産期母子医療センターとして低出生体重児などのハイリスクな分娩にも対応している。

【2020 年度取組状況】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度前半は救急車搬送依頼が減少したが例年並みに戻りつつある。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大後、安心して分娩できる体制として希望者には分娩前 PCR 検査の導入を行うなど、院内感染防止対策を徹底したこともあり分娩件数は大きく減少することなく推移できた。
- ・身体合併症精神科入院患者数は目標に届かず、今後、患者確保や病床活用について医師や看護師、精神保健福祉士など多職種によるワーキングチームを立ち上げ、検討に努めることとした。

③専門性の活用と多職種から成るチーム医療の充実

		2018	2019	2020	2021
栄養サポートチーム加算算定数(件)	目標	220	220	220	468
	実績	369	394	454	-
感染対策チームラウンド回数(回)	目標	50	50	50	32
	実績	42	36	29	-
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数(件)	目標	1,750	1,750	1,800	2,000
	実績	1,978	2,062	1,973	-
薬剤管理指導管理料算定数(件)	目標	13,800	14,160	14,520	13,200
	実績	10,998	12,033	12,936	-
栄養食事指導実施数(入院・外来)(件)	目標	3,300	3,300	3,300	3,300
	実績	3,041	3,204	2,815	-
リハビリテーション算定単位数(入院・外来)(単位)	目標	53,500	55,300	55,000	67,000
	実績	53,876	57,886	65,624	-
クリニカルパス適用率(%)	目標	40.6	41.3	42.1	48.0
	実績	41.1	47.8	45.0	-

※2020年度実績値は見込み

【2018年度から2019年度の取組状況と評価】

- ・各職種の専門性を活かしながら職種の枠を超えた「チーム医療」の充実によって、きめ細かな医療を提供している。
- ・限られた職員数で最大限の医療サービスの提供に努め、概ね算定実績は増加している。
- ・医療の標準化による質の向上のためクリニカルパスの利用を推進し増加が図られた。

【2020年度取組状況】

- ・医療の質向上及び効果的な病床活用の観点から、クリニカルパス適用疾患の拡大やパス利用の推進に注力し適正な入院期間を意識した見直しを行った。
- ・コロナ禍であっても、医療の質を維持するため最大限の感染防止対策に努めながら患者と向き合い、各種加算や指導件数を維持することができた。

<戦略Ⅱ> 医療従事者の確保・育成による診療体制の充実を図る

① 患者確保に向けた更なる取組み

		2018	2019	2020	2021
入院患者数(人)/日	目標	427	431	435	416
	実績	412	418	378	-
外来患者数(人)/日	目標	905	896	887	846
	実績	929	906	837	-
新入院患者数(人)	目標	13,800	14,160	14,520	14,520
	実績	13,845	14,112	13,671	-
新外来患者数(人)	目標	21,100	21,200	21,300	21,300
	実績	20,970	20,441	19,174	-
一般病床稼働率(%)	目標	86.3	87.4	88.4	85.7
	実績	84.8	86.1	78.2	-
重症度, 医療・看護必要度(%)	目標	32	32	34	35
	実績	33.9	34.0	37.1	-

※2020年度実績値は見込み

【2018年度から2019年度の取組状況と評価】

・「救急車は断らない」取組みや病院・開業医との緊密な関係を構築することにより、入院患者（新入院患者含む）が増加し、また、病床の効率・効果的な活用により病床稼働率が向上した。

・新入院患者の確保や手術件数の増加を図ることで、診療報酬改定における重症度、医療・看護必要度（以下、「必要度」）の厳格化にも対応し、必要度が向上した。

【2020年度取組状況】

・今年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響により入院、外来ともに患者数は減少したが、救急車の受入れや他院からの紹介を積極的に対応することで患者確保に努めた。

・重症度、医療・看護必要度Ⅱ（診療実績データ）への移行となったが、実施入力 of 徹底等図るなど精度管理に注力したことで高い値を維持することができた。

<戦略Ⅲ> 医療従事者の確保・育成による診療体制の充実を図る

②魅力ある研修・指導プログラム作り

		2018	2019	2020	2021
初期研修医の定員充足率(%)	目標	100	100	100	100
	実績	97.1	91.1	100	-

【2018年度から2019年度の取組状況と評価】

・定員充足に至らなかったことから、県内で最大の救急車受入数を有する救急医療を通し、プライマリケアから3次救急に至るまで様々な疾患について、初期研修医として身に付けるべき知識・技術を幅広く習得するためのプログラムの構築を行い充足率の向上に努めた。

【2020年度取組状況】

・2021年度も100%となる見込みである。地域医療を担う人材の育成に努めている。

<戦略Ⅳ> 地域の医療機関との連携強化の充実を図る

① 地域医療支援病院としての役割についての情報発信

		2018	2019	2020	2021
紹介患者数（人）	目標	14,075	14,159	14,201	13,725
	実績	13,213	13,469	12,881	-
紹介率(%)	目標	81.0	81.0	81.0	81.0
	実績	78.3	75.8	76.0	-
逆紹介率(%)	目標	83.0	83.0	83.0	86.9
	実績	86.1	85.5	86.9	-
登録医数(件)	目標	910	920	930	930
	実績	931	930	931	-
登録医訪問数(回)	目標	1,000	1,000	1,000	160
	実績	1,044	609	147	-

※2020年度実績値は見込み

【2018年度から2019年度の取組状況と評価】

・地域の医療機関との懇話会や救命救急センター症例検討会を通して、当院の役割のみならず専門領域の発信も行うことで紹介患者数の増加が図られた。また、人口動向や紹介患者の推移などから広報手段等について検討し、効率・効果的な登録医訪問を行うことで、当院の強みを発信する広報活動を行った。

【2020年度取組状況】

・新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関受診控えにより、紹介患者数は減少したが、「あすと」、「renkei」などの新たな広報媒体を活用することにより回復に努めている。

3. 収支計画について

(1) 収支計画

○2018年度～2020年度計画（抜粋）

【単位：百万円；税抜き】

区分		年度	計画		
			2018年度	2019年度	2020年度
収	医業収益（a）		14,950	15,123	15,186
	入院収益		10,567	10,712	10,772
	外来収益		3,169	3,171	3,171
	その他医業収益		1,214	1,240	1,243
	うち他会計負担金		961	960	960
入	医業外収益（b）		1,393	1,436	1,407
	他会計負担金・補助金		998	1,039	1,034
	国（県）補助金		48	43	43
	その他		347	354	330
	経常収益（A） a + b		16,343	16,559	16,593
支	医業費用（c）		17,047	16,990	16,664
	職員給与費		8,502	8,454	8,472
	基本給		3,638	3,655	3,673
	退職給付費		651	586	586
	その他		4,213	4,213	4,213
	材料費		3,487	3,505	3,522
	うち薬品費		1,233	1,239	1,245
	経費		3,305	3,305	3,305
	うち委託料		1,717	1,717	1,717
	減価償却費		1,661	1,634	1,273
出	その他		92	92	92
	医業外費用（d）		845	895	936
	支払利息		273	272	263
	その他		572	623	673
	経常費用（B）		17,892	17,885	17,600
	経常損益（C）（A） - （B）		▲ 1,549	▲ 1,326	▲ 1,007
	特別利益（e）		0	0	0
	特別損失（f）		100	100	100
	純損益【税抜】		▲ 1,649	▲ 1,426	▲ 1,107
	累積欠損金		▲ 8,840	▲ 10,266	▲ 11,371

○2018.2019年度決算及び2020.2021年度予算

【単位:百万円;税抜き】

区分		年度	2018.2019決算／2020.2021予算			
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
収	医業収益 (a)		15,398	15,790	15,545	16,338
	入院収益		10,962	10,915	10,509	11,283
	外来収益		3,275	3,708	3,834	3,865
	その他医業収益		1,161	1,167	1,202	1,190
	うち他会計負担金		961	963	964	964
入	医業外収益 (b)		1,392	1,441	1,989	1,328
	他会計負担金・補助金		997	1,047	1,117	977
	国(県)補助金		63	65	540	64
	その他		332	329	332	287
	経常収益 (A) a+b		16,790	17,231	17,534	17,666
支	医業費用 (c)		17,284	17,483	17,888	17,877
	職員給与費		8,823	8,809	9,845	9,946
	基本給		3,783	3,697	4,367	4,422
	退職給付費		625	749	650	631
	その他		4,415	4,363	4,828	4,893
	材料費		3,463	3,638	3,938	3,908
	うち薬品費		1,238	1,567	2,344	2,135
	経費		3,267	3,306	2,666	2,722
	うち委託料		1,648	1,743	1,990	1,875
	減価償却費		1,648	1,635	1,355	1,216
	その他		83	95	84	85
	医業外費用 (d)		808	885	1,014	1,020
	支払利息		271	267	260	251
その他		537	618	754	769	
	経常費用 (B)		18,092	18,368	18,902	18,897
	経常損益 (C) (A) - (B)		▲ 1,302	▲ 1,137	▲ 1,368	▲ 1,231
	特別利益 (e)		1	1	280	1
	特別損失 (f)		135	193	379	100
	純損益【税抜】		▲ 1,436	▲ 1,329	▲ 1,467	▲ 1,330
	累積欠損金		▲ 8,626	▲ 9,955	▲ 11,422	▲ 12,752

(2) 経営上の目標指標

本計画で定めた課題解決のための取組みをベースとして、経営上の目標指標を下記のとおり定める。

○現計画における目標(抜粋)

項 目 (算 定 式)	目 標 (年度)		
	2018	2019	2020
経常収支比率(%) (経常収益/経常費用)	91.3	92.6	94.3
医業収支比率(%) (医業収益/医業費用)	87.7	89	91.1
人件費比率(対医業収益)(%) (職員給与費/医業収益)	56.9	56	55.8
材料費比率(対医業収益)(%) (材料費/医業収益)	23.3	23.2	23.2
累積欠損金比率(%) (累積欠損金/医業収益)	59.1	67.9	74.9
一般病床稼働率(%) (入院患者数/一般病床数×365)	86.3	87.4	88.4
入院診療単価(円) (入院収益/入院患者数)	69,125	70,000	70,000
外来診療単価(円) (外来収益/外来患者数)	14,241	14,000	14,000
医師1人あたり診療収入(千円) {(入院収益+外来収益)/医師数}	123,754	122,859	121,247
看護師1人あたり診療収入(千円) {(入院収益+外来収益)/看護師数}	22,519	22,759	22,858
現金保有残高(千円)	2,268,555	1,952,870	1,884,365
企業債残高(千円)	23,409,186	22,065,117	21,050,886

○現計画における実績及び2021年度目標

項 目 (算 定 式)	実績及び2021年度目標			
	2018 (決算)	2019 (決算)	2020 (予算)	2021 (予算)
経常収支比率(%) (経常収益/経常費用)	92.8	93.8	92.8	93.5
医業収支比率(%) (医業収益/医業費用)	89.1	90.3	86.9	91.4
人件費比率(対医業収益)(%) (職員給与費/医業収益)	57.3	55.8	63.3	60.9
材料費比率(対医業収益)(%) (材料費/医業収益)	22.5	23.0	25.3	23.9
累積欠損金比率(%) (累積欠損金/医業収益)	56.0	63.0	73.5	78.1
一般病床稼働率(%) (入院患者数/一般病床数×365)	84.9	86.2	79.7	85.5
入院診療単価(円) (入院収益/入院患者数)	72,894	71,342	73,962	74,194
外来診療単価(円) (外来収益/外来患者数)	14,472	16,940	18,680	18,741
医師1人あたり診療収入(千円) {(入院収益+外来収益)/医師数}	125,991	129,407	121,551	125,190
看護師1人あたり診療収入(千円) {(入院収益+外来収益)/看護師数}	24,171	25,431	24,560	25,631
現金保有残高(千円)	2,367,134	2,401,066	2,237,104	2,558,212
企業債残高(千円)	23,288,186	22,317,117	21,459,136	22,418,260

4. 経営形態の見直しについて

プラン2017に記載してある2020年度以降の経営形態のあり方については、「他の経営手法の検証・研究を行いながら、経営形態のあり方についての方向性を見定めていく(一部抜粋)」としていた。

しかし、地域医療構想の今後の進め方の再整理も進む中、現時点で経営形態のあり方の方向性を見定めることができる状況にはない。これまでプラン2017に基づき、先行事例の収集・研究を進めてきたが、地方独立行政法人への移行を果たした病院の経営には一定の課題も見受けられる。引き続き、地域医療構想に関する推移を注視しながら、特に地方独立行政法人に移行した先行事例等についての検証・研究を進めていく。

仙台市立病院経営計画（2018年度～2020年度）

【2021年度延長版】

2021年3月

発行：仙台市立病院経営管理部経営医事課企画医事係

電話：022-308-7111／FAX：022-308-7213

〒982-8502 仙台市太白区あすと長町1丁目1番1号